



東北大学

平成 24 年 5 月 10 日

報道機関 各位

東北大学加齢医学研究所

主催:東北大学・東北大学加齢医学研究所
共催:亶理町中央公民館, 石巻中央公民館, 気仙沼市立大谷公民館・気仙沼市面瀬地域ふれあいセンター
後援:亶理町教育委員会・石巻市教育委員会・気仙沼市教育委員会

被災地支援:スマート・エイジング出前カレッジ

「楽しいエイジング 2012」

7/1 から開講(全 9 回)のお知らせ

加齢医学研究所が世話部局となり本年度から開始する被災地支援事業のひとつ、スマート・エイジング出前カレッジ(東北大学サイエンスカフェ・スペシャル)が7月1日(日)、亶理会場を皮切りに10月27日(土)まで全9回、亶理町、石巻市、気仙沼市にて各3回ずつ、開催されます。教員が県内の複数の被災地域に出向いて一連の講義を行うことは、東北大学初の取り組みになります。

本年度は『愉(たの)しいエイジング2012』と銘打って、「元気を生み出す心の習慣—脳科学からの提案」や、「しなやかな血管で健やかな長寿」などのタイトルで、学術研究成果に基づく分かりやすい身近な科学を紹介します。毎回、参加者にはソフトドリンクとお菓子を提供し、お茶などを飲みながら気軽に科学の成果に触れていただきます。これにより被災地の住民の方々の知的好奇心を活発にし、また健康科学になおいっそう興味を持っていただき、復興への活力を醸成していただくことを期待するものです。2013年、2014年の開講も予定しており、ひとつの地域、3年間で全9回を聴講できます。

なお、本事業の主旨などをご紹介するため、下記の通り記者説明会を行いますのでぜひお越し下さい。

記

日 時:平成 24 年 5 月 16 日 14:00～14:30

場 所:加齢医学研究所 プロジェクト総合研究棟 1F 中会議室

説明者:所長 佐竹 正延(さたけまさのぶ)教授

スマート・エイジング国際共同研究センター長 川島 隆太(かわしまりゅうた)教授

出前カレッジ世話係 高井 俊行(たかいとしゆき)教授

以 上

【経緯のご説明】

被災地のみなさまはその生活に落ち着きを取り戻しつつありますが、今なお精神的および経済的なダメージに日々、耐え忍ぶことを強いられています。このような困難な時にあっても、あるいはこのような時だからこそ、知的好奇心を刺激する環境を希求するとともに、自らの健康についての向上心が強くなり始めています。これは一年に亘り被災地に頻繁に赴いて住民と向き合う支援活動を継続している本学の研究者に対し、とりわけ最近、被災地住民からこのような知的活動に対する要望が寄せられています。また、今回の世話人が現地に赴いて公民館の担当の方々と面談した際にも、ぜひこのような講演を開催して被災者を元気づけてほしい、という強い要望が寄せられています。

本学の加齢医学研究所(加齢研:所長 佐竹正延教授)では、本年度 4 月からスマートエイジング・カレッジと称する講義シリーズを加齢研スマート・エイジング国際共同研究センター(センター長:川島隆太教授)にて一般市民向けにスタートし、大好評を得ています。これは仙台市民や宮城県民に広く開かれたものですが、現在、被災地からは交通手段の復旧遅れなどにより、受講できない県民が多くいます。そこで私たちは、被災地近くの公民館などに直接出向き、『健康的な加齢とは何か』、『愉しく老いるためのノウハウ』など、加齢研などでの学術研究成果に基づく分かりやすい身近な科学を紹介し、被災地のみなさまの知的好奇心を刺激し、自らの健康維持に対してさらに積極的に取り組む意欲を湧き立たせて頂くことを計画しました。これにより復興への意欲、活力を醸成してもらい、起業や経済活動へつながる道筋を見出してもらうことを期待しています。

今年度から向う3年間、被災地3カ所(亶理町、石巻市、気仙沼市;なお気仙沼市は大谷地区と面瀬地区の2カ所で実施)で、それぞれの地区につき月に1度の土曜あるいは日曜、4ヶ月間、計3回の出前授業を行います。一つの地区で3年間、計9回の開催となります。初回は7月1日(日曜)亶理町中央公民館からのスタートとなります。詳しくは添付のポスターおよびチラシをご覧ください。

講師は加齢研のほか、生命科学研究科、文学研究科、薬学研究科の教員で、講義内容は被災地の実情と要望を踏まえ、健康生活への提言、最近の健康科学の話題、高齢化への対処法などすぐに役立つ内容から少しだけ学術的な内容を含むものまで多彩なものを用意しています。対象は高齢者などの一般市民を想定していますが年齢は問いません。聴講は無料で、事前登録は不要です。会場ではソフトドリンクやお菓子を提供し、東北大学サイエンス・カフェに準じた環境を用意します。平成24年度の実施に対する反響を勘案して25年度と26年度はよりニーズと実情にマッチした出前カレッジの展開を計画しています。

お問合せ先:東北大学加齢医学研究所
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 4-1
TEL:022-717-8504 FAX:022-717-8505
遺伝子導入研究分野 教授 高井俊行
E-mail: demae@idac.tohoku.ac.jp

<会場案内図>



東北大学加齢医学研究所 プロジェクト総合研究棟1階中会議室
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
TEL: 022-717-8442

詳細は次の加齢医学研究所アクセスマップを参照ください。

<http://www.idac.tohoku.ac.jp/ja/access/railway/index.html>

被災地支援：スマート・エイジング出前カレッジ

「楽しいエイジング 2012」記者説明会

日時：平成24年5月16日（水）14：00－14：30

会場：東北大学加齢医学研究所 プロジェクト総合研究棟

1階中会議室

☐ ご出席

☐ ご欠席

※いずれかに印をお付け下さい

ご芳名：

貴社名：

所属：

媒体名：

電話番号：

FAX番号：

E-mail：

当日のお車利用 ☐有 ☐無

ご出欠のご返信を5月14日（月）までFAXにてご返信いただければ幸いです。

FAX送信先： 022-717-8452



主催：東北大学／東北大学加齢医学研究所
共催：亶理町中央公民館／石巻中央公民館／気仙沼市立大谷公民館
気仙沼市面瀬地域ふれあいセンター
後援：亶理町教育委員会／石巻市教育委員会／気仙沼市教育委員会

無料・来聴自由
ソフトドリンク+お菓子付き
(先着順：数に限りがあります)

平成24年度 震災復興支援事業

スマート・エイジング出前カレッジ(東北大学サイエンスカフェ・スペシャル)

「^{たの}愉快的エイジング2012」

亶理会場

亶理町中央公民館

(約100名収容)

7月 1日(日)

10月 6日(土)

10月27日(土)

いずれも

開場／ 13:00

サイエンスカフェ／ 13:30～14:30

石巻会場

石巻中央公民館

(約100名収容)

7月21日(土)

9月 8日(土)

10月20日(土)

いずれも

開場／ 13:00

サイエンスカフェ／ 13:30～14:30

気仙沼会場

気仙沼市立大谷公民館

面瀬地域ふれあいセンター

(それぞれ約100名収容)

7月 7日(土)

9月15日(土)

10月13日(土)

大谷公民館は

開場／ 10:00

サイエンスカフェ／ 10:30～11:30

面瀬センターは

開場／ 14:00

サイエンスカフェ／ 14:30～15:30

3会場にて順次開講!



- **ソフトドリンクとお菓子付き**(数に限りがあります)の
気軽なサイエンスカフェです。
- **無料**ですが**座席数に限りがあります**ので
お早めにご来場ください。
- ひとつの地区でこれから3年間、
全部で9回の開催を予定しています。
- 初回参加の方には**筆記用具を進呈**。
- 今年1年間で**3回受講された方に粗品を贈呈**します。
- 加齢とうまく付き合うための科学、
老年期を愉快地に過ごすノウハウに興味のあるかた
(年齢を問いません)を対象としています。

講師 (講師と講演内容はやむを得ず変更になることがあります)

- 7月1日(日) 筒井健一郎(生命科学・准教授)
「元気を生み出す心の習慣—脳科学からの提案」
- 7月7日(土) 大類 孝(加齢研・教授)「高齢者の肺炎を予防しよう!」
- 7月21日(土) 阿部恒之(文学・教授)「美しさを願うことがもたらすもの」
特別出演／大人きれいメイクの伝道者
資生堂ビューティータップスベジタリアン・西島 悦
- 9月8日(土) 佐藤靖史(加齢研・教授)「しなやかな血管で健やかな長寿」
- 9月15日(土) 川島隆太(加齢研・教授)「脳を鍛えてスマート・エイジング」
- 10月6日(土) 堀内久徳(加齢研・教授)「心筋梗塞や脳卒中の予防法について」
亶理町女性団体リーダー研修会を併催
- 10月13日(土) 村井ユリ子(薬学・准教授)「薬を暮らしに生かす知恵」
- 10月20日(土) 福田 寛(加齢研・教授)「画像で見る脳の加齢」
- 10月27日(土) 星川 康(加齢研・助教)
「病は口から?」
—高齢者の肺炎と手術後の肺炎の話、たばこ依存症の話—

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1

東北大学 加齢医学研究所 出前カレッジ係

TEL 022-717-8504 FAX 022-717-8505

E-mail : demae@idac.tohoku.ac.jp

HP : <http://www.idac.tohoku.ac.jp/index.ja.php>

事務局

加齢研

検索

元気・前向き
Powerful Positive Tohoku University
東北大学

「たのしいエイジング2012」

講師プロフィール



7月1日(日) 亘理町中央公民館

元気を生み出す心の習慣
－ 脳科学からの提案

筒井 健一郎 [つつい けんいちろう]

東北大学大学院生命科学部 准教授、40歳

主な著書または論文 / Science 誌や Journal of Neuroscience 誌など、一般・専門英文誌に研究成果を発表している。カールソン「神経科学テキスト」共訳。認知や行動をささえる脳のはたらきを、動物実験やヒトの脳機能イメージングによってしらべる研究を行っている。2003年日本神経科学学会奨励賞、2009年 日本心理学会国際賞奨励賞 受賞。



7月7日(土) 気仙沼市

高齢者の肺炎を予防しよう!

大類 孝 [おおるい たかし]

東北大学加齢医学研究所 教授、52歳

主な著書または論文 / Preventive strategies for aspiration pneumonia in elderly disabled persons. (Tohoku J Exp Med 誌2005年)ほか、これまで英文論文100編以上を発表。これまでの研究テーマとして、高齢者の肺炎が生じるしくみに関心を寄せ、それを明らかにするとともにいくつかの予防法を考案し実践している。平成14年度日本呼吸器学会熊谷賞、平成16年度東北大学医学部奨励賞受賞。



7月21日(土) 石巻中央公民館

美しさを願うことがもたらすもの

阿部 恒之 [あべ つねゆき]

東北大学大学院文学研究科心理学講座 教授、50歳

主な著書または論文 / ストレスと化粧の社会心理心理学(フレグランスジャーナル社)、化粧セラピー(日経BP社、分担執筆)、防災の心理学(東信堂、分担執筆)長年、化粧の心理学的効果の研究を行ってきたが、社会生活のマナーなど、ふるまひの美しさに観点を広げて研究を行っている。その一環として、昨年から被災生活のマナーや風評被害などの研究に注力している。



9月8日(土) 石巻中央公民館

しなやかな血管で健やかな長寿

佐藤 靖史 [さとう やすふみ]

東北大学加齢医学研究所 教授、58歳

血管が新しく形成される血管新生や血管老化について、さまざまな病気との関係や新しい治療法の開発を目指して研究を行っている。主な著書「よくわかる血管のバイオロジー」(羊土社)



9月15日(土) 気仙沼市

脳を鍛えてスマート・エイジング

川島 隆太 [かわしま りゅうた]

東北大学加齢医学研究所 教授、52歳

人間の心の働きを画像化する脳機能イメージング研究を推進し、世界をリードする業績を多数あげているだけではなく、高齢者や認知症患者の認知機能改善、脳を鍛える方法の開発など研究成果の社会還元も積極的に行っている。著書に「さらば脳ブーム」(新潮新書)、「大人のドリル」シリーズ(くもん出版)など多数。平成18年総務大臣表彰、平成21年文部科学大臣表彰。



10月6日(土) 亘理町中央公民館

心筋梗塞や脳卒中の
予防法について

堀内 久徳 [ほりうち ひさのり]

東北大学加齢医学研究所 教授、52歳

血栓性である心筋梗塞や脳梗塞の引き金となる血小板の活性化時の細胞反応を基礎的に研究する一方、循環器内科医として理想的な血液さらさら療法のあり方を臨床的に研究してきた。



10月13日(土) 気仙沼市

薬を暮らしに生かす知恵

村井 ユリ子 [むらい ゆりこ]

東北大学大学院薬学研究科医療薬学教育研究センター 准教授(兼 東北大学病院副薬剤部長)

日々の暮らしになくてはならない薬。共有財産である薬をいかに上手に使っていくのか、薬剤師教育を中心に研究に取り組んでいます。主な著書または論文 / 違いがわかる同種・同効薬(分担執筆、南江堂2010)、剤形別にみた製剤特性・使い方・患者指導:点鼻剤、月刊薬事53、1905(2011)、疾病の回復を促進する薬(分担執筆、放送大学教育振興会2012)など。



10月20日(土) 石巻中央公民館

画像で見る脳の加齢

福田 寛 [ふくだ ひろし]

東北大学加齢医学研究所 教授、63歳

画像医学が専門。これまでPETによる癌診断法の開発や多数の脳MRIを用いた脳の発達と老化に関する研究を行ってきた。脳の発達と老化に伴って脳の容積はどのように変化するのか、どのような因子が脳の老化を加速するのか、脳老化を抑制する因子は何かなどについて研究を行っている。



10月27日(土) 亘理町中央公民館

病は口から? -高齢者の肺炎と手術後の肺炎の話、たばこ依存症の話-

星川 康 [ほしかわ やすし]

東北大学加齢医学研究所 助教、東北大学病院 院内講師、45歳

主な著書または論文 / 肺切除術後肺炎の発症機序に関する新発見・高齢者肺切除症例における術後上気道防御反射異常と術後肺炎発症の関与(呼吸器外科の最新医療 2004年)、Generation of oxidative stress contributes to the development of pulmonary hypertension induced by hypoxia. (Journal of Applied Physiology 誌 2001年)ほか、肺の手術をより安全に行うために、手術後肺炎などの合併症がおこる原因を探り、予防策を開発する研究を行っている。その傍ら、低酸素状態が肺の血管に病気をひきおこすしくみについて、動物モデルやヒトの組織を用いて解析する研究をつづけている。

